

作成日： 2010年9月3日

改定日： 2024年5月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名）	ROSE P
製品コード	00859010
供給者の会社名称、住所及び電話番号	
会社名	豊玉香料株式会社
住所	東京都中央区日本橋蛸殻町1-14-5
電話番号	03-5640-5511
推奨用途	香料
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】

物理化学的危険性	
引火性液体	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	: 区分 4
急性毒性（経皮）	: 区分 3
皮膚腐食性／皮膚刺激性	: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分 2
生殖毒性	: 区分 2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 区分 2（肝臓、腎臓）
	: 区分 3（麻酔作用）
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期（急性）	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 区分に該当しない

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル、注意喚起語



危険

危険有害性情報

飲み込むと有害
皮膚に接触すると有毒
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
肝臓、腎臓の障害のおそれ
眠気又はめまいのおそれ

注意書き

[安全対策]

- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面等を着用すること。
- ・蒸気を吸入しないこと。
- ・屋外または換気の良い場所だけで使用すること。
- ・この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱い後は手をよく洗うこと。

[応急措置]

- ・皮膚や衣服に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当てを受けること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・口をすすぐこと。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。

[保管]

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・涼しいところに置くこと。
- ・施錠して保管すること。

[廃棄]

- ・残余の内容物/容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	：化学物質
化学名又は一般名	：フェネチルアルコール ：2-Phenylethanol
慣用名又は別名	：Rose P
成分及び含有量	：99%以上
化学特性（化学式）	：C ₈ H ₁₀ O
官報公示整理番号	：化審法 3-1032 安衛法 3-1032
CAS番号	：60-12-8
EC番号	：200-456-2

4. 応急措置

吸入した場合	：被災者を横向きに寝かせ、気道を確保した状態で身体の保温に努める。 被災者が意識を失っている場合には、消防機関への通報を行う。 被災者の呼吸が止まった場合や正常でない場合は、速やかに仰向きにして心肺蘇生を行う。 応急処置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	：石鹼を使って充分洗浄後、清浄な水で洗い流す。 必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合	：直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診断を受ける。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合	：口をすすぎ、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。 無理に吐かせてはいけない。 被災者に意識が無い場合には、口から何も与えてもいけないし、吐かせようとしても

いけない。
応急処置を施した後、速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥砂、粉末消火剤、二酸化炭素、泡沫消火剤等。
使ってはならない消火剤	: 特になし。
特定の消火方法	: 消火剤を火元へ放射、散布等をして消火する。 消火作業は可能な限り風上から行う。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺には関係者以外の立入りを禁止する。
消火を行なう者の保護	: 消火作業では、状況に応じて適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 作業の際、吸入や皮膚に触れないよう適切な保護具を着用し、換気を良くして処理する。
環境に対する注意事項	: 流出又は飛散した製品が河川等に排出され、環境に影響を起こさないように留意する。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	: 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密封できる金属容器に回収して適切に処理する。 多量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
二次災害の防止策	: 付近にある着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うこと。
安全取扱い注意事項	: 火気厳禁。電気機器類、静電気、スパーク等による着火源を生じないようにする。 : ばく露防止のため、適切な保護具を着用して作業を行なう。 蒸気（粉じん）の吸入、皮膚への接触を避ける。 取扱い後は十分に手洗いをする。
接触回避	: 「10.安定性及び反応性」の項参照
保管	
安全な保管条件	: 適切な換気のある乾燥した冷暗所（又は指定の場所）に密閉して適切に保管する。 消防法、労働安全衛生法等の法令の定めるところに従う。
安全な容器包装材料	: 法規制に従う。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度	: データなし
設備対策	: 取り扱いの際は、密閉された装置又は局所排気装置を使用する。
保護具	
呼吸用保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 保護手袋
眼、顔面の保護具	: 保護眼鏡、フェイスシールド
皮膚及び身体の保護具	: 保護服（長袖作業服等）、保護長靴
※「15.適用法令」に皮膚等障害化学物質の記載があるものについては、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具を着用すること。	

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色

臭い	: 特有の香気
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界	
/可燃限界	: データなし
引火点	: 106℃（クリーブランド開放式）
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数(log値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度(比重)	: ca. 1.022（20/20℃）
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の条件下では、反応性はない。
化学的安定性	: 通常の条件下では、安定で、自己重合性はない。
危険有害反応可能性	: 特記すべき反応性はなし。
避けるべき条件	: 特記すべき条件はなし。
混触危険物質	: 特記すべき物質はなし。
危険有害な分解生成物	: 自己分解により有害ガスを発生することはない。

11. 有害性情報

急性毒性	: LD ₅₀ 1,500mg/Kg（経口、ラット） LD ₅₀ 805mg/Kg（経皮、ウサギ）
皮膚腐食性／皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: データなし
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	: 72hr-EC ₅₀ 490mg/L（藻類(セネシス)
	48hr-EC ₅₀ 287mg/L（甲殻類(オキミナ)
	96hr-LC ₅₀ 340mg/L（魚類（ウグイ））
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）：産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。
汚染容器及び包装：内容物を完全に除去した後に処分する。処理は法規制に従って行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号：2810
品名（国連輸送名）：その他の毒物（有機物）（液体）（他の危険性を有しないもの）
国連分類：クラス6.1（毒物）
容器等級：Ⅲ
海洋汚染物質：非該当

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送：船舶安全法、港則法等に定められている輸送方法に従う。
航空輸送：航空法等に定められている輸送方法に従う。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策及び条件
：容器を転倒、落下等粗暴な取扱いをしない。
火気厳禁とする。
消防法危険物の第一類及び第六類と混載しない。
緊急時応急措置指針：指針番号 153

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法：名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物
：1674 2-フェニルエタン-1-オール ※令和8年4月1日施行
化管法：非該当
毒劇法：非該当

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

消防法：第四類 第三石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ
船舶安全法：毒物類
航空法：毒物類
海洋汚染防止法：非該当

16. その他の情報

引用文献等 1)日本産業衛生学会誌 2020年度版
2)Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices（ACGIH）2020年度版
3)独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）GHS分類結果
4)香料のGHS対応の手引き（改訂第3版） 日本香料工業会
5)IFRA-IOFI Labeling Manual
6)Registry of Toxic Effects of Chemical Substances

記載内容の取扱いについて

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取扱を対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、新たに、用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。